朝日新聞社	朝日新聞	2017年1月16日オピニオン面	－

中小企業経営者50人への「AIは味方ですか？」というテーマのアンケートに
当社の代表である後藤はYESと回答しました。

9 オピニオン 12版▲ 2017年(平成29年)1月16日 月曜日 朝日新聞

フォーラム

AIは味方ですか

われら中小企業

人材育てて使いこなす

保育園経営「コピーアンドアソシエイツ」社長 小林照男さん(47)

Yes 首都圏と山形県で、あわせて27の認可保育園を手がけています。

子どもひとりひとりの成長度合いをAIで分析し「こんなケガをしそう」と予想できるようになるかもしれません。子どもたちのケガや病気を防ぐことにつながり、スタッフの保育士に余裕が生まれることで、ますます子どもたちに寄り添える効果も期待できそうです。

AIの活用によって全産業的に人手不足が解消されれば、人手が足りずにお応できていない「保育園をつくって」とのご要望にも応えられるかもしれません。

AIの進化は、止まることはないでしょう。「人間の仕事を奪う」などと言う人もいるけれど、この先の時代を大人として生きるのは、いまの子どもたち。高等教育も大切ですが、人生の土台づくりである幼少期にこそ、AIを使いこなす基礎をはぐくまなくては。

うちには、4歳児から、ひとりに1台、iPadが使える保育園もあります。あるとき、子どもたちがスタッフに「撮って動くの？」と尋ねました。「どうすればわかるかな」と投げ返すと、子どもたちは真剣の同じところを、iPadで時間をずらして何枚も撮影、つなげて1本の動画にします。みんな目を輝かせました。「撮は動いてるんだね」と。

ICT（情報通信技術）、そしてAIも使いこなす大人になってもらうためのカリキュラムを、これからも考えていきます。

（本部・東京都目黒区 従業員約600人）

Yes 進化したAIは大企業などに導入され、自動化や無人化が進むだろう。人材も確保しやすくなる。ただ、科学技術は使い方を間違えると、一瞬にして恐怖となる。それは、原発事故やネット犯罪、そして戦争で証明されてきた。（50代・サービス業）

Yes 天気や気温によって販売数がどう変わるかといった正確な予想ができるようになり、商品の適正陳列に使える。いまは、過剰在庫や商品不足などが起こりやすく、むだが多い。ただ、経済性ばかりにこだわる世の中にならないかと心配だ。（60代・サービス業）

Yes 3K職場の代表であるとびの仕事が、AIの進化で少しでも肉体的に楽になると、若手のなり手が増えるし、仕事をつづけられる者も増える。一方で心配なのは、自分の頭で考え、判断し、行動して生き抜く力が低くなることだ。（40代・サービス業）

No 翻訳サービスをしているが、いずれ進化したAIに市場を食われるだろう。人間は、AIがうまく動くためのデータベース整備などを手がける、いわばAIの助手になるのでは。その整備の仕事もとって代わられるかもしれないが。（50代・サービス業）

No 人間が暮らす舞台である住宅は、人間が考え、手をつかってつくることに意味がある。決してAIがつくるものではない。AIは、あくまでも人間社会の一分野で使うもの。社会全体のしくみを変えるものとして、活用するべきではない。（60代・住宅メーカー）

人工知能（AI）が進化しています。政府は成長戦略の柱の一つに位置づけようとしており、多くの仕事を人間に代わって担うとみる専門家も少なくありません。中小企業経営者にとって、AIは味方なのでしょうか？ シリーズ「われら中小企業」で尋ねると、前向きにとらえる声とともに、不安の声も集まりました。

協力いただいた49社（順不同）【北海道】武部建設、岩見沢液化ガス【東北】高田自動車学校、八木澤商店、オクト、蔵ホテル一関、シェルター、八葉水産、東穀、ヴィ・クルー、キクチ【関東】中里スプリング製作所、日本プラスター、日本電装工業、永瀬留十郎工場、プレジール、日本橋梁工業、コピーアンドアソシエイツ、吉村、石坂産業、アイシービー、喜久屋、セリエコーポレーション、アトム精密、エイアンドピープル、ミナロ、アフロディーテ、ウェルネスダイニング、一友ビルドテック、ユウマペイント、サンパワー、ジー・プーン【中部】給材、ネコリパブリック【近畿】ロマンライフ、山田製作所、中野BC、新日本テック、造和建設工業、カワキタ、梅南資材、三谷製作所、成田塗装、日本グリーンパックス【中国、九州】エブリイ、ヒューマンライフ、お掃除でつくるやさしい未来、プレースホーム、ツシマ

◆編集委員・中島隆と村上が担当しました。次回の「われら中小企業」は、2月20日に掲載の予定です。ご意見はasahi_forum@asahi.com か、〒104-8011（所在地不要）朝日新聞オピニオン編集部「フォーラム」係へ。

やりがいは人間のもの

環境事業「日本グリーンパックス」社長 山中利一さん(58)

どちらとも言えない 半世紀にわたってさまざまな環境ビジネスを展開してきました。最近では、自治体のごみ収集業務を支援するアプリを開発しました。中小企業の中では、最新技術の活用は積極的な方です。

ただAIは、いままでの技術とは根本的に違うと感じます。創造性を持ち、人間がするところに入り込んでくる可能性がある。

私が経営でめざすのは、「新しいことを生み出す人を生み出す」。今、目すはらしいことが明日もすばらしいとは限らないのが、現代です。多様なサービス、商品を生むしくみを持つ企業が生き残ると思います。

新しいことを進めるには、けっこう無駄が必要です。試作品をつくる、売り込みや視察のために出張する、といった経費は必ずしも利益につながりません。でも、その試行錯誤の過程から創造が生まれます。

そして、私が大事にしたいのは、その過程に社員が「精神的やりがいを感じることです。AIにやりがいの部分を渡したくはありません。

極端な話、社員全員をAIにしたらすごく効率的でしょう。社員にしたら経費に間違いはかからないかもしれません。しかし、社員や従業員がやりがいを感じられるのでしょうか。AIは、人が働く意味、生き方にかかわってくる人です。

技術そのものはすばらしいと思いますが、国を挙げて取り組むのであれば、その力をどう制御するのかもしっかり議論してほしいですね。

（本社・京都府長岡京市 グループ企業を含め従業員65人）

△ 町工場という仕事で考えると、敵とも言えないし、味方と言うほど使う気もない。設備の保守・整備の費用は、設備メーカーの言いなり。AIに興味は出たら、修理代は、AIをつくったところの言いなりに負担しなくてはならないのか。（40代・製造業）

△ AIが発達すると、現在の仕事がなくなる可能性が高い。うまく活用すると、大幅なコストダウンができるだろう。人間では仕様が難しい技術が簡単に手が届けられるため、あらたな製品開発に力を入れることもできるのかもしれない。（50代・製造業）

△ AIの進化の賛否は、基本的に製造業の話であり、判断ができない。特に期待もしていないし、そもそも内容がよくわからない。ただ、人間と違って間ばはないと思う。情を大切に経営しているので、あまり使えない気がする。（40代・サービス業）

1 「いい！」を選んだ企業はごくわずかでしたが、他の選択肢を含めた回答全体から見えてくるのは、期待と不安が入り交じった状態でAIの進化を見つめる経営者たちの姿です。選択肢にない回答を書き込んでくれた企業もありました。「味方にしていかなければなりません」と。生き残りのために、活用は避けられない。その覚悟や気概を、身に刻む生ではあるい者と少ないのではなく、成長に導く方策が政治や科学には求められています。（村上研郎）

2017年（平成29年）1月16日 月曜日

朝日新聞

天気 6 9 12 15 18 21(時)

東京	☀	☀	☀	☀	10	8 −1
横浜	☀	☀	☀	☀	10	8 −1
千葉	☀	☀	☀	☀	10	8 −1
さいたま	☀	☀	☀	☀	20	8 −4
札幌	☁	☁	☁	☀	10	2 −5
仙台	☀	☀	☂	☁	40	5 −3
名古屋	☀	☀	☀	☀	30	6 −2
大阪	☁	☀	☀	☀	20	7 −2
福岡	☀	☁	☀	☁	40	9 −2

朝日新聞東京本社 本日の編集長＝梅原季哉
〒104-8011東京都中央区築地5-3-2 電話03-3545-0131 www.asahi.com

PRP PRESS RELEASES PLATFORM